

第二回 羽田再拡張D滑走路建設工事山砂安全連絡会 議事概要

日時 平成19年1月29日(月) 自:14時00分 至:16時00分
場所 千葉県教育会館本館6階604会議室

1. 議事

- (1) 体制について
- (2) 山砂運搬計画について
 - ① 運搬方法について
 - ② 沿道対策について
- (3) その他

(議事結果)

今日の議論を受け、事務局で運搬経路、運搬時間等について再検討する。

(主な質疑・意見等)

◎ 運搬経路図(案)について

- ※ 国道16号及び国道127号は、非常に交通量が多く道路は飽和状態である。道路管理者である国交省には確認をとっていないが、ほぼ全線に渡り5センチ程度の轍がある。渋滞についても桜井交差点を初め16号は混雑している。それに加え1,500台近い車両が通ると信号機だけでは対応できないと考える。また騒音振動はどうか、国交省の見解を伺いたい。(千葉県警)
- ✦ 現状、国道16号線においては、昼間12時間で32,000台程度の交通量があり、1時間あたりでは、約2,700台の交通量となっています。今回の羽田用の山砂運搬によって、1時間あたり約6%の増加となり、台数としては決して大きいとは言えませんが、交通量が増加することは確かです。ただし、国道16号及び127号に関しては、それ以外のルートを選択肢がないのが現状です。道路の状況については、千葉国道事務所に確認します。
- ※ 国道409号は、先般事務レベルでも打合せしたが、非常に問題のある狭隘な道路である。台数は減ったが何故計画からなくなるのかお聞きしたい。(千葉県警)
- ✦ 往路と復路にルートを使い分け、交通量を減らしています。特に、第三中学校前では見張り員をつける等、総合的な対策を実施します。
- ※ 広域農道から国道16号へのルートは、3年前に解除になった。大型規制を解除する際に住民に再三説明した経緯がある。当時、警察としては現在の交通状況からして大型車の増加はないという前提のもとに説明しており、仮に問題が再発した場合はその時点で対応する旨説明しているのので、事前に適切な対応をとって欲しい。また、広域農道の解除後に住民の意見により再度規制をかける場合、他の道路にも波及することが懸念されるので、事前にしっかり対策を講じて欲しい。(千葉県警)
- ✦ 広域農道から国道16号へのルートは、蔵波台への負荷を抑える意味で追加しました。ご指摘の通り、過去からの経緯があると聞いていますので復路のみとしました。何れ

にしても今後問題が生じないように適切に対処していきます。

- ※ 木更津市のアピタ通りについて、現在ひび割れが出ている状況に加えて大型車両が通れば、道路が耐えられるか心配。また、建設残土の関係で住民から大型車両排除の話も出ているのでルート変更について配慮してほしい。また、道路にかかる維持補修については、事務レベルで検討させて欲しい。(木更津市)
 - ✦ 今後、協議させていただきます。
- ※ ストックの期間及び本工事の交通量を教えて欲しい。(千葉県)
 - ✦ ストックの期間に関しては現在明確に決まっていますが、概ね1ヵ月位を想定しています。また、本工事の交通量は、ルートにもよりますが約2倍となる箇所も想定しております。本工事が始まる際は、改めて本連絡会に諮ります。
- ※ 木更津市のルート(R409)の問題は、住民に迷惑を掛けないように高速道路を使用すれば少しでも市民生活が軽減されるが、どう考えるか。(木更津市)
 - ✦ 高速道路の利用については、従前からご意見をいただいています。しかしながら、山砂購入は民間対民間の問題なので代金の合意がなければ、高速道路の利用は困難でないかと思えます。今後の重要な検討課題とさせていただきます。
- ※ 管内約400kmあり選定ルートが、約145kmある。補修工事を年間委託しており4~5,000万の費用を要しているの、これを踏まえて羽田向けの判断材料としたい。また県の道路管理者としては、ガードレールや誘導路等も維持管理委託をしているので、羽田のダンプ対策とは言わないが、その様な体制も構築している。(千葉県)
- ※ 国道409号の横田地区の分散化は評価する。現実的に歩道がないので大型車の相互通行が難しいとの調査結果がある。問題事項や苦情があった場合は即対応して行くという形で、各管理者と協議しながら連絡会にあげる形としたい。(千葉県)
- ※ 国道409号に関しては、第3中近辺の狭隘な道路につき対応していただけるとのことだが、全体を通して見ても一番対応が難しいのが409号と考える。この道路は他と比べてあまりにも条件が悪すぎるので、是非見直しをしていただきたい。また、国道16号の港へ向かう道路も既に限度に来ているので、いかにスムーズに環境基準も含めて何らかの方策について引き続き検討をお願いしたい。(木更津市)
 - ✦ 今後、県、市と協議しながら、対応を検討していきたい。

◎ 運搬規則(案)について

- ※ プレートをダッシュボードに提示するとあるが、側面にないと一般住民/県民は見づらく車両の特定は厳しいので、側面で検討してもらえないか。(千葉県)
 - ✦ 側面にマグネット版の貼り付け等検討しましたが、ダンプが通過してしまうと確認出来ない事からリボンの取り付けを提案させていただきました。ダンプカー協会にもヒアリングしましたが、リボンを付けて走行している車両は、現状ありませんので羽田関連の車両として特定することが可能と考えます。また、車両ナンバーや会社名を基に通報があれば早急に対応できる体制を取りたいと考えています。
- ※ 規制違反が生じた場合、事業主にも責任が及ぶような体制と考えてよいか。(千葉県)
 - ✦ 今後、協議させていただきます。

◎ 問い合わせ情報処理規則(案)について

- ※ 問い合わせ窓口の体制について、JVと協議会となっているが、責任ある判断が必要な

問い合わせもあるのではないかと。また夜間や休日も問い合わせがあるのではないかと。(千葉県)

➤ 判断が必要な事項は、JV、協議会に任せきりしないで、国にも逐一情報が入ってくる体制となっています。また、夜間や休日については、その間の運搬は含まれていないため、現時点ではそこまでは考えていません。ただし、休日、夜間の対応は従前より様々なご意見をいただいているので、柔軟な対応をしていきます。

※ 相談窓口をどこに設置するのか。(富津市)

➤ 木更津市潮見に設置します。

※ 問合せ窓口はいろいろなクレームが来る。処理方法等については今回で決定ではなく、もう少し事務レベルで細かい打合せが必要と考える。また、苦情に関しては、対応を誤ると大変なことになるので、事務レベルで打合せさせて欲しい。(千葉県)

➤ その方向で、対応させていただきたい。

◎ その他

※ 運搬の時間帯は、調整するのか。(千葉県警)

➤ 運搬時間は、日の出～日没を設定しています。通学時間帯については、最大限配慮していますが全く運ばないということは困難であると考えています。ただし、「日の出～日没では分かりにくい、時間を明確に決めるべきではないか。」との意見もいただいていますので、再度検討して次回の連絡会にお諮りします。

※ 日曜日は、休むのか。また、夜間運搬しないと間に合わないから、夜走ることも有り得るのでないか。(千葉県)

➤ 日曜日、夜間については、ダンプ運搬を行いません。

※ 地域社会への貢献の中で、緑化基金を行うとあるが、具体的内容を教えていただきたい。また、国、JV、協議会の3者が共同で行う訳ではないのか。(千葉県)

➤ 昨年からは山砂事業者が自主的に行っています。今後は、協議会において予算取りをして行いたいと考えています。また、あくまで募金なので、国が予算措置を行う話ではありませんが、このような活動があるので発展させていこうという前向きな方針を記載させていただいています。

※ 臨港道路は、C交通で設計している。現在、交通量調査を行ったところ約2,000台。それに先程の1,500台を加えると計画交通量を超えてしまうので、維持管理に努めていただきたい。また、飛散防止対策、路面清掃、照明等の安全対策、近隣の公園利用者の安全対策、ゴミのポイ捨て等マナーも遵守、港湾区域のパトロール職員の安全対策等をお願いしたい。さらに、築地の新工事、臨港道路、H岸壁、防舷材、電気防食等の工事との調整もお願いしたい。(千葉県)

➤ 道路に関しては、全般論の中で対応させていただきます。環境対策、安全対策及び他工事との調整等詳細については、今後、調整させていただきたい。

※ 県と国、JVと再生緑化に向けた協定を締結したい。JVが下請契約する際に緑化再生の内容を(契約書へ)盛り込んで欲しい。購入価格について適正でないと、過去にもダンプの過積載、スピード違反の弊害が生じるので、その様なことがないようにお願いし

たい。また、千葉県には、かずさアカデミアパーク構想があり県の重点構想であるので、ダンプが通行しないよう配慮して欲しい。これについては、今後影響も出てくると思われるので、企業立地課、林務課も本連絡会のメンバーに入れてもらいたい。(千葉県)

✦ 対応可能なものについては、可能な限り取り組んでいきます。なお、本連絡会は、あくまで運搬に関する事を調整する場としてご理解をお願いしたい。

※ 市議会対応についてどう考えているのか。(富津市・君津市)

✦ 全市共通と考えられるので、県と調整して対応を考えていきたい。

※ 千葉県土砂運搬適正化対策要綱に基づき、協定を事業者の方をお願いしたい。また、協定は、着手前に締結したい。(千葉県)

✦ 過去のプロジェクトにおいても様々な協定が結ばれているということで、適切に対応していきます。

以上